

『上方はなし』を聴く會
準會員券

當る一月十四日(土曜)

午後一時より(嚴守)

高麗橋 三越八階ホールにて

暖房装置完備

本券御持参の方及其同伴者に限り、准會員として取扱ひいたします、御一名に付金五十錢當日會場入口にて御拂込の上御申込を願います。

プログラム

お伊勢詣り	桂	南天
あん七	桂	花柳
新町ぞめき	林家	染三
市助酒	笑福亭	松鶴
補助出演	笑福亭	松翁
不動坊	桂	米之助
口入屋	桂	談枝
蜆賣	桂	米團治

切取線



お玉牛

笑福亭 松鶴

エ、此のお噺しは紀州と大和の國境へ堀越村と云ふ處で、百姓の與次平と申しまして嫁さんがお累さんと申します。此のお累さん幼ない時に兩親に死に別れ身寄が無いので御庄家様が萬事世話を致して居りましたが、年頃に成りましたので此の與次平を婿養子に致しました。此のお累さん、人三化七と申しまして人間が三分で化物の方へ七分、背がすなりと低うて色がくつきり黒い。でぼちんが出て居ておとがいがやりおとがいがい。頬べたが出たある替りに鼻が内らへ高い。頭の毛が赤うてちぎんで居るので顔と頭で二輪加が出来てる。四方出のちぎみの髪と云ふて明智光秀の家來みたいな顔。とこ